

TUVALU ツバル

南太平洋の知られざる宝石

赤道のすぐ南に位置する魅惑の国ツバル。サンゴ礁からできたいわゆる環礁国で、ツバルを構成する9つの島の総面積は26km²ととても小さいですが、領海は約130万km²にもなります。

珊瑚礁やエキゾチックな海洋生物など、まるで生きているアート作品のような海中の光景は、万華鏡のようでもあります。ツバルの豊かな文化と温かいもてなしの心を通して、ツバルの魂に深く触れてみてください。彼らの温かな歓迎と、伝統的なダンスや美しい旋律の歌、ハンディクラフトはきっと一生の思い出になること間違いなしです。夜が深まれば、満天の星空の下、リズムカルな波の音に包まれながら、しばし日常を忘れて静寂を楽しんでみるのもいいかも。そんな特別な時間をもたらしてくれるツバルへ、是非一度訪れてみませんか？



ナヌメア

ニウタオ

ナヌマンガ

ヌイ

バイツブ

ヌクフェタウ

●フナフティ

ヌクラエラエ

ニウラキタ

渡航経路例

成田⇒ナンディ(フィジー)⇒スバ(フィジー)⇒フナフティ(ツバル)

ツバル堪能プラン / 初級モデルコース フナフティ環礁を満喫したい!

- 1日目
 - AM ● フナフティ国際空港到着
 - PM ● ランチでツバル料理を楽しむ。生のマグロをココナツミルクで味付けた「メアオタファカロロ」をご賞味あれ!ホテルに荷物を預けたのち、町中を散策♪人懐っこいツバルの人々に「タロファ!」と元気よく挨拶して話しかけてみよう!美しい海を眺めながら、夕日を背に伝統料理を味わう
- 2日目
 - AM ● ボートでフナファラ州島へレッツゴー!美しいサンゴ礁・熱帯魚に囲まれて、シュノーケリング♪海の世界にしばし没入し、日常を忘れる…
 - PM ● ランチでツバル料理を楽しむ。「フォヌ」と呼ばれるウミガメの料理にチャレンジ!ランチの後は、真っ白なビーチで日光浴!お昼寝をしたり、本を読んだり、南国気分をのんびり満喫名残惜しい気持ちに胸に、ボートで戻る。フナファラでの美しい景色を振り返りながら、レストランでディナー
- 3日目
 - AM ● ウーマンハンディクラフトセンターへ。お気に入りのハンディクラフトをお土産に探そう!パンダナスの葉を乾燥させて作られたマットや、素敵な色の貝殻で作られたネックレスがおすすめ
 - PM ● ツバルの希少な切手を求めて、郵便局へ!壁一面に貼られたたくさんの切手の中からお気に入りの切手を見つけよう!ツバルの伝統的なダンス「ファーテレ」を見ながら一緒に歌って踊ってみよう!
- 4日目
 - AM ● フィジー経由で日本へ



Dance

ツバル伝統ダンス「ファーテレ」体験
お祝いのときは「ファーテレ」という伝統的なダンスを踊ります。男性が素手で四角い木の箱を叩いてリズムを作り出し、十数人のダンサーがそのリズムに合わせて踊ります。踊り子が着るパンダナスという植物の葉で作ったスカートや、花の冠の民族衣装はとても鮮やかです。歌の内容は、文化、社会、聖書の教えなどさまざま。ツバルの人々と一緒に歌って踊ってみましょう!

Food

おすすめフード

ツバルの伝統的な料理では、ココナツ、いも、ブレードフルーツ、魚介類、バナナなどが使われます。
メアオタファカロロ
古くからの主食はココナツやプラカいも、タロいも、ブレードフルーツなど。近年はパンもよく食べられています。メアオタファカロロとは、生のマグロをココナツミルクで和えた料理です。それに、パン、米が添えられます。料理の味付けには、ココナツミルクやココナツの樹液(カレグ)が使われることが多いです。
フォヌ
ウミガメの料理。「ウム(ポリネシアの伝統料理)」と呼ばれる焚火で土壌や石を熱した余熱を使う保温調理方法で、じっくり時間をかけて調理されたお肉は、旨みがたっぷり!



島の違いを堪能するプラン / 中級モデルコース ツバル国内アイランドホッピング!

- 1日目
 - AM ● フナフティ国際空港到着、ホテルに荷物を預けてランチへ!
 - PM ● ランチで生の魚をアレンジしたローカルフードに挑戦!自転車レンタルして、町中を散策♪気持ちの良い海風を浴びながらひたすら続く一本道を駆け抜けよう!翌日郵便局へ行ったときに出すためのポストカードもこっそり買っておく
- 2日目
 - AM ● 宿泊先のホテルでのんびり朝食。南国のフルーツで元気いっぱいフレッシュな朝を迎える。ツバルの希少な切手を求めて、郵便局へ!
 - PM ● 木陰に入ってランチ休憩
ウーマンハンディクラフトセンターへ。お気に入りのハンディクラフトをお土産に買おう

フナファラ州島

- 3日目
 - AM ● ボートでフナファラ州島へレッツゴー!美しいサンゴ礁、熱帯魚に囲まれて、シュノーケリング♪
 - PM ● ランチでツバル料理を楽しむ。「フォヌ」と呼ばれるウミガメの料理にチャレンジ!ランチの後は、真っ白なビーチで日光浴!何もしない贅沢な時間を楽しむ

フナフティ海洋保護区

- 4日目
 - All day ● 宿泊先のホテルでアレンジしてもらったボートでフナフティ海洋保護区へ! (海洋保護区は、フナフティ環礁の西部、テカサヒリビリ島とフェファラ島など6島と礁湖、サンゴ礁、水路、大洋を含む区域)シュノーケリングには絶好の場所!タイガーシャーク、エイ、カメ、そのほか多種多様な魚たちの世界を覗こう!時期が合えば、絶滅の危機に瀕しているアオウミガメや、ヤシガニに出会える

ヌクフェタウ環礁

- 5日目
 - All day ● フナフティの北西100kmにある島、ヌクフェタウ環礁へ! (国内線フライトで行くことができる)静かなラグーン沿いをクルージングしてみよう。美しい海にしばしうっとり。お散歩して息をのむような景色を楽しんだり、日光浴をしたりして一日を過ごす

ヌクラエラエ環礁

- 6日目
 - AM ● ボートもしくは国内線でヌクラエラエ環礁へ(どちらもあまり頻繁に運航していないため、事前に調べておくことが望ましい)絵画のように美しいサンゴ環礁で、のんびりシュノーケリング。ビーチでのんびりしたりトロピカルな雰囲気身を任せて♪
 - PM ● 第二次世界大戦の遺跡へ。日本軍占領時代の地下壕や建造物跡を見学し歴史に触れよう

- 7日目
 - AM ● フィジー経由で日本へ



Gift

厳選ギフト
ツバルのユニークなデザインの切手は、世界中の切手愛好家達の注目をあつめています。政府も販売に力を入れており、外貨獲得源のひとつになっている程です。その種類はさまざまで、自然、野生動物、地元の文化や伝統、歴史的イベントなどがモチーフになっています。他にも、歴史的な著名人の生誕・没後の節目の年のメモリアルな切手など、毎年数多くの切手を発行しています。施設内にはたくさんの切手が展示されているので、じっくり時間をかけて、ぜひお気に入りの一枚をみつけてくださいね!

Q 国名にもなっている「ツバル」はツバル語でどういう意味でしょうか?

A 答えは p.22 に!

コラム 1 国旗について

独立以降使用されていた国旗は、英連邦の一員であることを示すユニオン・ジャックを旗の左上に記し、さらにツバルを構成する9つの星がデザインされていました。1995年にはユニオン・ジャックを取り除いた新国旗が採用されましたが、1997年に元の国旗デザインに戻された、という歴史があります。

コラム 2 ツバルのマグロが日本に?

従来、日本との交流は限られていましたが、1978年の独立後、日本は直ちに国家承認を行い、外交関係を樹立しました。それ以来友好関係を築いています。また、日本はツバルとの間に日・ツバル漁業協定を締結しており、入漁料を支払ってツバル経済水域で漁船の操業を行っています。日本で口にするマグロやカツオが、実はツバル沖合から来ているものかもしれません…!

オンラインコンテンツを楽しもう

さらにツバルの情報を知りたい方はツバル観光局のウェブサイト(英語)にアクセス!現地でのツアーや体験プログラムの詳細を確認することができます。